

協賛金・寄付金を上手に集めているクラブ

地元企業や保護者が支援する「地域作り」

～ふじみ野ふあいぶるクラブ～

会員の約70～80%を小学生が占めるふじみ野ふあいぶるクラブは、「はじめてのスポーツを、身近な学校・施設で！」がキャッチフレーズ。バスケットボールを中心に、さまざまな教室を展開しています。特に「わくわくバスケホリデー」は地元住宅メーカーが協賛し、好評を博しています。地域と保護者が一体となって盛り上げる総合型クラブに注目しました。

🔑 キーポイント

- ★ さまざまな「つながり」を大切に
- ★ CSR事業としての大会協賛
- ★ 保護者たちの働きかけによる費用支援

1 誰でも参加できるスポーツ広場を目指して

ふじみ野ふあいぶるクラブは平成21年3月、会長兼クラブマネジャーを務める篠島幹昌さんを中心とした6～7人のスタッフで設立されました。

中高生の頃からバスケットボールや野球、テニスを経験してきた篠島さんは、大学卒業後、ふじみ野市で開催されるスポーツ大会の運営を手伝います。この経験が総合型スポーツクラブに興味を持つキッカケとなりました。「運営側に入ると、それまで見えなかったものが見えてきます。さまざまな方とつながっていく中で、課題やいろいろな声が聞こえてきました」と篠島さん。まずは「誰でも参加できるスポーツ広場」をテーマに、身内の十数人でスタートし、徐々に参加人数を増やし、子どもたちの参加も増え、さらに「スポーツ教室」を開催してほしいとの根強い声もあり、クラブを立ち上げました。「地域作り」をクラブ理念に掲げ、「敷居があってつながらぬものに横串を通すように、私たちが介在していろいろな活動をつなげられれば」という思いがやがて、ふじみ野ふあいぶるクラブの大きな特徴となっていきます。

2 子育て支援CSR事業としての大会協賛

ふじみ野ふあいぶるクラブの現在の会員数は約520人（平成25年度）。その70～80%を小学生が占めています。そのため、ジュニア育成のための環境作りも、クラブ目標の一つになっています。特に「種目モデル」としているバスケットボールは、市内の中学校区ごとにバスケ教室を設置するだけでなく、1年に数回、地元の住宅メーカーを協賛に迎えたイベント「わくわくバスケホリデー」を開催しています。

従来の大会協賛は、「たくさんの観客、たくさんの参加者」のいる大会に付く傾向がありましたが、この「わくわくバスケホリデー」の参加者は100人前後。住宅メーカーは「子育て支援のCSR（企業責任）事業」として、スポーツ・イベントを探していたところでした。そして、その住宅メーカーに対しての提案は（ふだん提案営業を仕事にしている）クラブの保護者スタッフの提案サポートの協力があったからこそ、スムーズに話がまとまった背景もあったようです。「わくわくバスケホリデー」で、スポーツ未経験の子どもたちがコンテストやイベントを楽しみ、保護者の方たちが応援している雰囲気を見て、住宅メーカーは協賛を決めたそうです。住宅メーカーに対してふじみ野ふあいぶるクラブでは、イベント期間中の会場内や告知ポスター、チラシなどさまざまな場所でメーカー名の露出を行っています。また、住宅メーカーがCSRとして広報宣



「わくわくバスケホリデー」では、6つの中学校区の教室による対抗ゲームが実施される



会場はふじみ野市立東台小学校の体育館

伝を行う際には、イベント実績として「わくわくバスケットホリデー」を情報発信に活用してもらっています。まさに「地域貢献や社会貢献を総合型スポーツクラブが担い、それを支えてくれるのが企業」という連携を効果的に利用しているイベントです。ここにも、ふじみ野ふぁいぶるクラブ設立当初からのさまざまな「つながり」が活用されていると言えるでしょう。



今年6月29日には第3回を開催

3 保護者たちの働きかけによる費用支援

ふじみ野ふぁいぶるクラブのキャッチフレーズは「はじめてのスポーツを、身近な学校・施設で！」です。この「はじめて」「身近」をキーワードに、バスケットボール、テニス、バドミントン、チアダンス、ヨガ、理科(実験科学)などたくさんの教室が開かれています。そして、この教室に参加する小中学生の子どもを持つ保護者をはじめ、地域の保護者の方たちに対して、地域参加の場を作り出すことも、クラブの大きなテーマになっています。

大切なのは、保護者の方たちが無理なく楽しみをもって、支える側で参加してもらえること。一つの工夫としてプロボノ(職業上持っている知識・スキルや経験を生かして社会貢献するボランティア)として参加してもらえるような場作りも行われています。

最近では、支える側で参加してくれたお父さんたちが、勤める企業に対して、CSRとして費用支援の働きかけをする動きも出ています。この企業支援により、例えば理科(実験科学)教室に必要なメガネ代や、資料作成の用紙代などをねん出しています。

篠島さんは「スポーツで始まったクラブですが、文化活動も含め、子どもや保護者に、する側と支える側などでいろいろな体験をしてもらい、一つの地域参加の場になるように心がけています。今後は、自分たちの方から(企業に)提案できる、総合型クラブならではのプロジェクトや事業を作っていきたい」と抱負を語ってくれました。



ふぁいぶる理科(実験科学)教室も小学生には人気

クラブプロフィール

設立：2009(平成21)年3月8日
 地域：埼玉県ふじみ野市
 運営：会員数520名(平成25年度)
 予算規模：約2,000万円(内、平成25年度toto助成金約500万円)
 連絡先：ふじみ野ふぁいぶるクラブ事務局
 〒356-0011 埼玉県ふじみ野市福岡1-1-1
 ふれあいプラザかみふくおか2F
 TEL：0120-961-184 FAX：049-293-8457
 E-mail：fujimino_ssc@yahoo.co.jp
 H P：http://fujimino-ssc.com
 Facebook：facebook.com/fujimino.ssc